

# 次代へつなぐ心の財産

鈴木善幸元総理の特集に取り  
組むに当たってさまざまな文献  
や資料を読み、あらためてその  
功績の大きさを実感しました。  
昭和8年の三陸津波をきつか  
けに、貧しかった漁村・農村を  
救うため政治の道を志し、立ち  
上がった鈴木元総理の功績の一  
部をご紹介します。

鈴木元総理が掲げた政治信条  
としては「和の政治」と「足ら  
ざるを憂えるよりも等しからざ  
るを憂える」の2つが有名で、  
ご存じの方も多いと思います。  
「和」という文字には▽やわら  
ぐこと。おだやかなこと▽互い  
に仲良くすること▽うまくつり  
あうこと——などの意味があり、  
何よりも協調性を大切にしてい  
た鈴木元総理。また、一人一人  
の貧しさを解消するよりも、社  
会的な不平等を解消することが先  
決であると訴えていました。  
それから28年が経過した現在、  
わが国では個人主義が中心とな

り格差社会といわれていますが、  
その中で人と人とのつながりが  
見直され、地域コミュニティを  
生かした取り組みが全国各地で  
進められてきています。それは  
まさに、鈴木元総理が大切にし  
た「和の心」の精神そのもので  
はないでしょうか。

鈴木元総理の功績はさまざま  
な資料など目に見える形で残さ  
れませんが、「善幸さん」が大切に  
した「和の心」も目に見えない  
心の財産として、次の世代へ受  
け継いでいきたいものです。

【参考文献】「総理・鈴木善幸そ  
の素顔」岩手日報社編（熊谷印  
刷出版部発行）／「等しからざる  
を憂える」東根千万億著（岩手  
日報社発行）／「山田町津波誌」  
山田町津波誌編纂委員会編（山  
田町教育委員会発行）  
【写真・資料提供】鈴木俊一事  
務所／宮古水産高校同窓会／岩  
水会／山田町教育委員会

《特集 終わり》

